

2年次選択科目日光医療センター循環器系内科，腎臓内科系研修プログラム

1. 研修施設

獨協医科大学日光医療センター

2. 研修期間

1か月～

3. 指導体制

指導責任者： 安 隆則教授

主任指導医： 杉村 浩之

4. 募集人数

1期あたり原則として3名

5. 研修目標

基本的医療技術を指導のもと実施する。

循環器疾患に対する病態生理、診断、治療を総合的に理解し修得する。

6. 基本的診断・検査法

a. 一般目標：循環器領域の基本的検査法の適応と結果を理解し修得する。

b. 到達目標：・シミュレーターならびに症例で正確な聴診法と胸壁などの触診を体得する。

・血液・生化学検査一般、細菌検査、腫瘍マーカー、細胞診、病理学的検査、動脈血ガス分析等の検査の進め方を学び結果を解釈する。

・心電図（運動負荷試験、Holter心電図）を理解し、判読する。

・脈波検査を理解し、判読する。

・心・胸部エコー法（体表面、経食道）を自ら実施し解剖学的機能的診断を理解する。

・胸部単純X線、胸部CT（単純、造影）、胸部MRI検査の読影する。

・心血管造影検査、心臓カテーテル検査（右心・左心）を上級医とともに実施し、その結果を理解する。

・不整脈、電気生理学的検査を理解する。

・腎不全の透析療法を理解する。

・慢性・急性腎臓病の診断、治療を理解する。

7. 基本的治療法

- a. 一般目標：循環器領域の基本的治療法を理解し修得する。
- b. 到達目標：
 - ・生活指導、食事指導法を修得する。
 - ・循環器領域の薬物療法（緊急薬剤の適応と使用法、抗菌剤、中心静脈栄養法、全身管理、化学療法）を修得する。
 - ・吸入療法、酸素療法、人工呼吸器管理（気管内挿管）を修得する。
 - ・放射線療法を修得する。
 - ・緩和治療を修得する。
 - ・心臓疾患のリハビリテーションを理解する。
 - ・電氣的除細動を修得する。
 - ・スワングアンツカテーテル検査・体内・体外式ペースメーカーを修得する。
 - ・循環器疾患の救急に対する知識と適切で迅速な判断、処置（救命蘇生術）を行うことができる。
 - ・腎不全の透析導入管理を修得する。

8. 経験が望まれる症状・疾患

- ・経験が望まれる症状
胸痛、胸部圧迫感、動悸、めまい、心悸亢進、失神、浮腫、呼吸困難、ショック、チアノーゼ、四肢冷感・痛み、下肢潰瘍
- ・経験が望まれる疾患
急性・慢性心不全、狭心症、心筋梗塞、心筋炎、心筋症、心膜炎、感染性心内膜炎、心タンポナーデ、心臓弁膜症、先天性心疾患、不整脈、大動脈解離、大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、高血圧症（本態性、二次性高血圧症）、肺高血圧症、慢性腎不全、高脂血症、深部静脈血栓症、下肢静脈瘤、リンパ浮腫

10. 研修内容

- 1) 外来：指導医の補助医として外来診療に参加し、幅広い症例を経験しながら急性期および慢性期の基本的な診察・診断法などを修得する。
- 2) 病棟：指導医の下で入院患者の受け持ちとして診療にあたる。また指導医の指示により当直を行い、緊急時、急変時に対応した経験を積む。
- 3) カンファレンス等：循環器・カテーテルカンファレンス、抄読会、回診等に参加する。

11. 研修医評価

研修終了時に、指導医により研修到達目標について評価を行う。

12. 診療・研修の特徴

- 1) マン・ツー・マンの指導體制。
- 2) 循環器領域を総合的にとらえ診断～治療の流れを体得できる。
- 3) 循環器疾患の救急医療に対応できるよう研修できる。
- 4) 虚血性心疾患、不整脈、動脈硬化症等の専門的な最新の医療体制。
- 5) 各種心臓カテーテル緊急検査(約700件/年)、冠動脈形成術(約150件/年)、肺動脈拡張術(15～20件/年)、電気生理(約150件/年)、高周波焼灼術、ペースメーカー植え込み術の整備、末梢血管における血管形成術(約70件/年)
- 6) 血管造影装置2機、64列マルチスライスCT、血管内超音波装置、OFDI
- 7) 腎疾患の血漿透析等